

# フリースタイルな僧侶たち

特集

## 魚を売るのも 僧侶の仕事

日蓮宗 佐々木 教道

好評連載中!

マンガ お坊さん日和。「よき人とのであい」

突撃ッ!! 体験レポート「普茶料理」黄檗宗萬福寺

しりとり法話バトル「ウェブ」

40

# 魚を売るのも 僧侶の仕事

千葉県勝浦市。房総半島の東側、太平洋を一望する高台に正榮山 妙海寺がある。過疎といわれる場所で「恩送りのシステム」が循環し始め、幸福度の高いコミュニティが完成しつつある。エンジンを回し続けているのはこの人、佐々木教道住職。

文：島田ゆかり  
text: Yukari Shimada  
写真：坂本泰士、松村和順  
photographs: Taishi Sakamoto, Kazunori Matsumura



「私の活動について話したら1日じゃ足りないですよ(笑)」

佐々木住職が手掛けていることは実に多岐に亘る。代表的なものだけでも、音楽活動、B1グランプリ(ご当地グルメで町おこし)プロジェクト、漁業支援、テンプルステイ、ヨガリトリート、寺市など、挙げればきりが無い。もちろん住職としての法務もこなし、毎年1月20日の大寒から2月3日の節分までは、毎日欠かさず、10年以上寒行も行って(寒行とは、地元の町を「南無妙法蓮華経」と唱えながら団扇太鼓を叩いてまわる日蓮宗の恒例行事)。

現在38歳。この若さでこれほど多様な活動ができていて理由は、住職になるのが早かったことにあるという。

## シンガーソングライター住職

佐々木さんは勝浦にある高照寺に、4人兄弟の長男として生まれ育った。大学生の頃、妙海寺のご住職とご子息が相次いで亡くなられると、その後継ぎとして佐々木さんに白羽の矢が立った。妙海寺の前住職に父上(実家のお寺のご住職)が大変お世話になっていたという深い縁があったためだ。そして、24歳

で妙海寺の住職を継ぐことに。

「自分が住職なので、檀家さんにさえ共感していただけたら、思った通りにできます。違和感があることがあっても、上に誰かがいるとやはり変えづらい。本当に恵まれていました」

たとえば音楽活動。それまで全く経験がなかったのに、住職になると決まってから作詞作曲を始めたという。

「自分ができることを必死で考えました。歌なら仏教の教えが伝わりやすい。音楽だったら努力で何とかなると、まあ勘違いからのスタートですね(笑)。最初の1曲を作るのに、1年かかりましたから。初めは多くの檀家さんや地元の人々は『???'』という感じでしたが、続けていくうちに徐々に理解していただけてきました」

音楽活動を10年ほど継続する中で、勝浦市の観光課からテーマソングを作ってほしいという依頼が来た。昨年10月のB1グランプリでゴールドグランプリを受賞した勝浦タンタンメンの『勝浦タンタンメン音頭』や、勝浦名産カツオの歌『勝OH!ソング』は、佐々木さんの所属する音楽ユニット「しんが」の作詞作曲。今では地域PR活動の中心的存在の一人になっている。



### 地域が守りたいと思うお寺に

「寺子屋ブッダ」という、お寺イベントの情報サイトを運営している組織がある。お寺がもつと身近で楽しく、あたたかな場所であるために、さまざまなクリエイターと僧侶が一緒になって活動をしているチーム。佐々木さんは、彼らと一緒に考え、どんどん新しいことに取り組んでいる。

たとえば勝浦や妙海寺が直面している過疎の問題。佐々木さんたちは、「今、勝浦では何が求められていて、未来のために何が必要か」という課題を抽出し、地域の人々と共有する機会をつくるために「ミラクル人会議」を開いた。これは「ミライをツクル元気な人、勝浦の未来を創る人々」が集い、語り合う場。

第1回のテーマは「漁業」だった。勝浦は漁業の町だが、漁師の平均年齢は75歳。後継ぎがないことも多いという。

「漁師さんの中には『俺の代でやめるよ』と言われる方もいるのですが、それだと町がなくなっちゃうでしょう。他にも、本当は協力関係であるべき漁師・仲買・小売りの方たちが、仲が悪い(笑)。だから関係者で話せる場をつくろうと考えました。」

利害関係のからむ3者で話したほうがいいよね、という発想です」

佐々木さんは、県の水産関係の役人の方や、海洋大学の養殖研究の先生などに会いに行き、想いを話してミラクル人会議への参加をお願いした。関係者をお寺にお呼びして、講演をしてもらった後で飲み会兼会議。それぞれ職種が違う人が来るためアイデアがどんどん出る。

「とても意味のある会になりました。お寺は、中立の立場だから、そういう場を提供するのもっていいんですよ」

また、佐々木さんには「都会のお寺と田舎のお寺との連携をうまくつくれたら」というアイデアもある。都会で忙しく過ごす人々を対象にした1泊2日のお寺体験、「テンプルステイ」はその試みの一つ。

「このお寺は何の音もしない。都会では体験できない田舎のお寺の魅力を、いかに発揮します(笑)」

逆に、地方から都会へというベクトルの企画も検討中。「市場で売れない魚は捨ててしまふ。地元の者はいたかくのですが、すごくおいしんですよ。もったいないですよ。地域物産という、田舎でしか手に入ら

ないものを産直として都会のお寺にお持ちして、地元の人々の収入源もつくってあげたい」

こうしたさまざまな取り組みを実施、検討している佐々木さんは、お寺の存続よりも、地域の存続を先に考えていた。

「『お寺を維持するには』とか『檀家さんを減らさないようにするには』といった、『お寺だけどうにかしよう』という考えがよくない。勝浦のように過疎が進む町では、地域を元気にせずに、お寺だけが元気になることはあり得ない。仏教に「自利利他」という教えがありますが、『自利』を求める前にまず『利他』をしないと。地域の役に立っているお寺は、地域がつぶさせない。

地元のお寺、お坊さんが、ご近所の人たちのためにいろんなことに関わるのはむしろ自然なこと。本来のお寺は、そういう存在であつたはずですよ。だから魚を売ってお手伝いをしたり、歌を作ったりすることも、僧侶の仕事だと思っています」

清々しいほどに言い切る佐々木さんは、過疎の今後の可能性も見据えている。「日本は人口減少社会に入ったし、都会でも減ってきています。都会は、人口が減ったら壊滅するかもしれない。巨大施設はつ

ぶれていくだろうし。勝浦には大きな施設はないけど、小さくて強いコミュニティをつくれば、百年後にも町はあると思うんです。長いスパンで、次の世代に何を残していくかを考えるのは、お寺が向いています。六百年、千年と続いてきたのがお寺だから。人が少なくとも機能して、各々の仕事がある、幸福度の高いコミュニティをつくれると思っっているんですよ。でも自然なことですよ。自然な形に戻っていくのかなと思います」

腑に落ちたら、言うよりやる

佐々木さんの愛にあふれる行動力、幅広い活動のベースにあるブレない信念は、どのようにして身に付いたのだろうか。

「住職になりたての頃は、お寺がにぎやかになればいいな、という程度でした。おおよその方向は見ていましたが、確固たるものもなかったし。鼻っ垂れですよね」と笑いながら語る。

自分の中の軸ができるきっかけとなったのは、埼玉県で定期的に開かれていた『法華経』の勉強会だった。それまでは「こういう教えがあるんだな」とぼんやり思う程度だったのが、勝浦から車で何度も通ううちに、



佐々木教道（ささき・きょうどう）

1977年、千葉県生まれ。正榮山妙海寺住職。立正大学仏教学部を卒業し、千葉県勝浦にある妙海寺に入寺。24歳で住職に。同時に新たな布教方法を確立するために音楽活動を開始。また、お寺関連のイベントや地元の活動などを精力的に行い、現代におけるお寺の可能性を日々模索中。

「初めて仏教が腑に落ちた」。

「この私塾のご住職さんがとても有り難い方で、想いを持って教えてくださいました。『お釈迦さまは、これを伝えたかったんだよ』とご自身の体験談を交えて話してくださいました。本で読んだ『法華経』の講座とはインパクトが違いました。

寺に帰ってきて、自分が学んだことを皆さんにお伝えするときに、腑に落ちていないものは自分の言葉にできない。腑に落ちたものは伝わりやすい。『知恩報恩』、恩を知り恩に報いる、という仏教の教えもその一つです。『これだっただけ伝わるだろうな』と。

それから、勉強会でインプットしたものを、とにかく実践していききました。自分ができていないと、言葉が薄っぺらくなる。だから『言うよりやる』。それを少しずつ実践してきて、今があります。根本には『法華経』があり、お釈迦さまの教えがある。迷ったときも、この大きなバックボーンに立ち返れるんです」

この「知恩報恩」という教えが浸透するように、たとえば「寺市」は、「ありがとうを言う、ありがとうを言われよう」をテーマに実施している。これも「ミラクル人会議」同様、寺子屋ブッダのチームと佐々木さん

んが一緒に考え抜いて、やっと完成したテーマ。

「来た人を捕まえて『今日、必ず誰かに感謝してください』ってお願いします。無理やりですけど(笑)。そういう仕掛けをつくって。ステージで発表する人にも、『お母さん、ごはんをいつも作ってくれてありがとう』と言ってから始めてもらいます。やはり体験は重要で、こういうことから『知恩報恩』の精神が伝わっていけばいいですよね」

### 一番の仕事は菩薩づくり

「大学生の頃は結構やんちゃなこともしたり、『てめえさえ良ければいい』という生活をしていました。そんなときに大きな挫折があつて、父と母にもとんでもなく迷惑をかけた。ものすごく悩んだし、自分なんかいなくなってしまう方がいいんじゃないかとさえ思うような出来事だったんです。どうして今、こういう状況に陥つたのかを考えると、『自分のことだけなんとかしよう』としていた。我が強かった」と当時を振り返る。

この挫折の最中、佐々木さんは『ペイ・フォワード』という映画に出会う。「世界を変えるな

ら君は何をする？」という授業で、自分が3人を幸せにできたから、自分に何かを返してもらおうではなく、その3人がそれぞれまた別の3人を幸せにするという映画。

「善意の受け渡しが行き巡って自分に返ってくる。『自分さえ良ければいい』だと成り立たないですよ。世界中にその善意の輪が広がっていくんです」

「仏教の本質でありながら、一般の方々にも響く言葉」を目標に、寺子屋ブッダチームと2泊3日の合宿をして、その3回目にしてやっと、練りに練った渾身のキーワードを絞り出しました。

それが、地域活性のテーマとして掲げている『菩薩づくり』です。菩薩とは、まちづくりです。菩薩とは、自分の幸せと他者の幸せを繋げ合わせて考えられる人。私がお坊さんになろうとしたときの原体験にも、自分が受けてきた恵みにも、自分が受けてきた恵みに気づく『知恩』と、その恵みの恩を社会に返していく『報恩』があります。『知恩報恩』のエンジン、私たちが担っている。放っておいたら回っていかない。これをグルグル回していくのが、我々の仕事です。『知恩』と『報恩』がワンセット。この恩送りのシステムがグルグル回っていくことが、仏教が目指す社

会であり、菩薩の生き方ができる人を増やすことが、僧侶の一番大切な仕事だと思っています。そして菩薩を増やすことは、お寺ができる一番の地域活性化だと思うんです。お互いに支え合う人が増えれば、『うちの地域、うちのお寺、困らないけど』になると思います」

私は都市で働き、地域も職場も、佐々木さんとは違う環境に身を置いている。だけど私も、自分の持ち場で「自分の幸せと他者の幸せを繋げ合わせて考えられる人」でありたい。「菩薩」のような生き方になることは、<sup>々</sup>人生の活性に繋がるのかもしれないと感じたからだ。

「『任職の仕事』(お葬式などの)法務」という枠を取っ払ってしまえば、こんなにおもしろいことはありません。お坊さんの仕事は、教えを生き、自分の生き方で教えを説いていくものだと思います。だからできることは何でも。役に立っているなら何でもいいよ、と言われるような気がしています」と、今日も寒空の下、日課の寒行に出かけて行った。

佐々木住職より、お坊さんの皆さまへメッセージ

「一緒に何かやりたい、というお坊さんがいらっしゃったら、ぜひ寺子屋ブッダまでご連絡ください。我々が経験してきたノウハウを共有して、どこのお寺でもチャレンジできるようにしていきたいと思っています。心が通うお坊さんの仲間をつくっていきたい。仲間と一緒にやるから事業が展開していく。これからは宗派を越えた仲間が必要です」  
寺子屋ブッダ <http://www.tera-buddha.net>

島田ゆかり(しまだ・ゆかり)

おてライター。仏教の教えとお寺の美しい佇まいに心奪われ、お寺好きに。「いかに仏教が素晴らしいか、お坊さんが素晴らしいか」を説いて回りたい。好きなお寺は善光寺。行ってみたいお寺は永平寺。

# お坊さん 日和。

18

“よき人のであい、  
まんが  
みっざわ ひろあき”



いざ、サチさんのもとへ…！つづく！

ふ ちゃ  
普茶料理

黄檗宗大本山 萬福寺

長芋で作られた  
かまぼこもどき！  
見た目ではわからな～い



それいけ！  
お寺ガールたち！

突撃ッ!!  
体験レポート



お皿からみんなで分け分け。趣向を凝らした料理で自然と話も盛り上がる。

宇治にある黄檗宗大本山萬福寺で普茶料理を食べました。黄檗宗は1654年（江戸時代）に中国から渡来した隠元さんが開かれた禅宗の一派です。萬福寺では隠元さんが伝えた普茶料理が食べられます。「普茶」とは「普く大衆に茶を供する」という意味です。文字通り普茶料理は人々の上下分け隔てなく振舞われるもので、元々は法要後に参拝者が食べていたそうです。相席となった人たちが初対面同士仲良くされるように、一皿に盛られたお料理を直箸でいただくのが「普茶」の基本です。今では法要の有無に関係なく、観光客の方も食べることができるようになっています。

ひょうたんのお漬物！  
かわいい～♥



レポーター

後藤美紀

京都市在住アラサー。寺社仏閣とカフェが大好き。今年は京都検定2級に合格しました。

普茶料理を体験してみる!!

◎黄檗宗大本山 萬福寺  
京都府宇治市五ヶ庄三番割34  
11:30～14:30 (境内拝観は9:00～17:00)  
◎7,000円コース・2名から (税別)  
◎5,000円コース・2名から (税別)  
◎3,000円普茶弁当・1名から (税別)  
ご予約は ☎0774-32-3900  
※要予約 (3日前までに)。普茶弁当のみ当日予約可 (若干数)。拝観料別途必要  
<http://www.obakusan.or.jp>

精進料理といえばお肉なしのイメージですが、一般の方に向けたお料理ということで、お肉・お魚もどきの料理も出てきます。お坊さんが作るし、地味な見た目のお料理なのかと思いきや、しょうがや紅白のお饅頭の天不羅に、お皿いっぱい飾られた煮炊合わせ料理など、とても彩りがきれいでした。何よりお野菜だけなのでカロリーを気にしがちな女子にとっても嬉しい！  
お坊さんの工夫と遊び心をふんだんに味わえるお料理です。季節ごとに旬の野菜を味わえるので、また行ってみたいな♥

手紙で告白と、メールで告白って何がちがうんだろう？

第13回

しりとり  
法話バトル

お題 ウェブ

「うまぶ」

着物の女性が、「メールで告白、メールでプロポーズ。親御さんへの挨拶もメール……あかん気がする」と、つぶやくCMを見かけます。インターネットの普及後、ウェブ上で遠くの他人と一瞬で繋がることのできるようになり、電子メールは生活に欠かせないツールとなりました。そんな中、「メールで告白」の一体何が「あかん」のでしょうか。  
お釈迦さまは、「対機説法」という方法で、人々に教えを説きました。対機説法とは、相手の状況や性格、能力などに応じて、その人に一番響くように法を説くことです。医者が、風邪の人には風邪薬、胃痛の人には胃薬を処方することによく例えられます。  
メールで診察する医者がないように、お釈迦さまも相手と実際に顔を合わせて話を聞くことで、

今号の勝者はこの方！

佐山拓郎 (さやま・たくろう)

浄土系単立天恩山五百羅漢寺住職。昭和のある年の秋彼岸、東京下町の小さなお寺で生まれる。おとめ座のB型。右投げ右打ち。縁あって目黒の羅漢寺の住職となる。「しりとり法話バトル絶対王者」として今年も投稿を続けます！」

残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価はウェブで公開しております。  
<http://www.freemonk.net>

Judge: Eriko Iimura, Maho Nakajima, Miki Goto

次回のお題は——  
「ブロークン・ハート」

法話募集のお知らせ  
応募資格 僧侶(宗派不問・字数4700字)  
○第14回 「ブロークン・ハート」  
締切 2016年4月30日  
○第15回 「友達」  
締切 2016年6月30日  
応募先 [info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)  
たくさんのご応募をお待ちしております。

# EVENT CALENDAR



4月 5月

## 6・11 仏教ヨガ講座

水曜日 水曜日

Let's begin ヨガ Life!  
ヨガで心と身体をととのえましょう!

19:00~20:30 500円 定員40名(男女不問)  
講師/Yuuka(ガッソ有香・山形県誓願寺浄土宗教師)  
着替え持参 ▶ 仏教伝道センタービル8F



4月 5月

## 19・17 働く人のための坐禅会

火曜日 火曜日

仕事帰りに疲れた心と頭の整理をしませんか?  
お一人でも気軽にご参加ください。

20:00~21:30(坐禅60分・お茶会20分) 500円  
定員30名(男女不問) 講師/阿純章(天台宗)  
▶ 仏教伝道センタービル7F



4月 5月

## 28・19 仏教を初歩英語で学ぶ会

木曜日 木曜日

テーマは『ユーモア、マンガ、歌に学ぶ仏教』。  
簡単な英単語を使って仏教を学んでみませんか?

18:30~20:00 各回500円 定員40名 講師/ケネス田中  
(武蔵野大学教授、日本仏教心理学会会長)、ケアリー田中(東京外国語大学非常勤講師) ▶ 仏教伝道センタービル8F  
今年度より「BDK Buddhist English Guide 認定」を設定。詳細は当協会ウェブサイトまで。



## 公益財団法人 仏教伝道協会 BUKKYO DENDO KYOKAI

イベントは事前申込が必要です。電話、ウェブサイト、Facebookまで。

TEL: 03-3455-5851  
FAX: 03-3798-2758  
bdk@bdk.or.jp  
http://www.bdk.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝4-3-14  
JR「田町」駅 三田口(西口) 徒歩8分  
都営地下鉄 三田線・浅草線「三田」駅 A9番出口 徒歩2分  
f https://www.facebook.com/bukkyodendokyokai

4月 5月

## 28・22 アラサー僧侶とゆるーく話す会

木曜日 日曜日

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは「あなたの話したいこと」。仕事・恋愛・家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、お坊さんの謎な生態・仏教の考え方に興味のある方、ただただゆったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。京町家でお茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:30~17:00  
1,000円(フリスタ会員800円) 定員10名  
▶ amu KYOTO(京都市京都市下京区紅葉町364) JR「京都」駅 徒歩10分  
申込/ http://www.freemonk.net/events  
主催/ フリースタイルな僧侶たち

京都

4月

## 16 お寺で宇宙学

土曜日

岸和田の薬師院で講座「お寺で宇宙学」が行われます。真言密教は宇宙の真理を伝える仏教といわれます。その教えと、宇宙科学の比較が非常に面白いと評価をいただいております。お寺で宇宙科学の先生とお坊さんが、宇宙と密教についてお話をするのを聞いてみませんか。どなたさまでもご参加いただけます。

【阿字観瞑想教室】14:00~(要申込)  
【お寺で宇宙学】密教のお話15:30~、宇宙のお話16:30~、座談会18:00~  
入場無料  
▶ 高野山真言宗 薬師院(大阪府岸和田市宮本町28-22)  
南海本線「岸和田」駅 徒歩10分  
講師/ 富田晃彦(和歌山大学教育学部教授)、小野剛賢(薬師院住職)  
申込/ http://yakushiin.com  
※講座「お寺で宇宙学」からのご参加も可

大阪

## EVENT CALENDAR



5月

21

土曜日

 伊豆のお寺から始まるふたりの出遇い<sup>であ</sup>  
 第4回 お寺で縁結び

静岡

お寺は昔、ご縁のある家庭の家族構成などを把握し、ほどよい若人同士のご縁を結んで、地域の活性を担ってきました。「お寺が婚活？」と懐疑的なご意見もあるかもしれませんが、そもそも婚活をやってきたのがお寺という地域活性基地です。前回までに10組のカップル、2組の成婚者が生まれました。仏さまの慈悲のもと、ある種共通の価値観の中で集う皆さまが「ともに考えともに悩み、ともに笑っていく人と遇い得た感動」を喜び、そのお手伝いをするのが私たちの回向であると考えます。5月の伊豆は明るいです。皆さまのご参加と仕合せを心よりお待ち申し上げます。

内容は、読経・写経・念珠づくり・恥をかかない社会人の礼拝作法伝授・ヨガ・フリートーク・模擬カップルでお墓詣り・立食懇親会など。詳細はウェブにて。  
 12:30～19:30 男女とも各5,000円 定員男女各24名  
 ▶真宗大谷派 正蓮寺(静岡県伊豆の国市南江間930) 無料駐車場あり  
 申込 / <http://shourenji.or.jp> 主催 / 正蓮寺仏教青年会(若手の檀家さんチーム)

4月

29 ▶ 5

金・祝日 木・祝日

5月

 世界最大級の寺社フェス  
 「向源 in 日本橋 2016」

東京

宗派や宗教を超えて、さまざまな日本の伝統文化を体験できる世界最大級の寺社フェス向源。2016年は神田明神、増上寺に加え、江戸五街道の出発点、日本橋を中心に3拠点で7日間、100コマ以上(予定)の体験型ワークショップや公演を催します。テーマは「ニッポンを遊べ。」。今なお伝統が息づく日本橋には寺社にはない日本人の生業が凝縮。さまざまな「ヒト・モノ・コト」を紡ぎだします。愉しみ方はあなた次第。遊び心、継いでいく心、ゆとりをもって「ニッポンを遊べ。」を合言葉に、「いいね、ニッポン！」を旅しましょう。

11:00～20:00 5,000～6,000円(平均2.3コマ/1日)  
 ▶4/29(金) 神田神社(神田明神)  
 4/30(土)・5/1(日)・5/2(月) 日本橋各所 / 日本橋三井ホール  
 5/3(火)・5/4(水) 日本橋各所  
 5/5(木) 芝大門 浄土宗大本山 増上寺  
 申込 / <http://kohgen.org> 主催 / 向源実行委員会

6月

4

土曜日

 ハナ唄になるまでが  
 理想の聲明(しょうみょう)講座

京都

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは、宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本のお能や狂言などは、念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたのハナからメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にどうぞ(修行して認められる“聲明僧”の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。みなでお勤めする浄土真宗ならではのお経をゆるーく実際に唱える講座です)。

15:00～17:00 1,000円(フリスタ会員800円) 定員20名  
 ▶浄土宗 龍岸寺(京都府京都市下京区八条坊門町564) JR「京都」駅 徒歩10分  
 講師 / 山田真悟、福山智昭  
 申込 / <http://www.freemonk.net/events> 主催 / フリースタイルな僧侶たち  
 ※筆記用具をご持参ください。

5月

21

土曜日

 池口龍法 × 辻村優英  
 経典をナナメから読む会ファイナル

京都

「仏教は失恋に効くのか？」をうたい文句に、池口龍法(元代表・浄土宗僧侶)と辻村優英(研究者)が、2012年1月から2015年2月までの間に28回にわたって実施してきた「経典をナナメから読む会」。その対談をまとめた書籍『仏教は現代の苦しみに効く?』が今年3月について完成しました! 書籍出版を記念して1年間のブランクを経てお届けする感動の最終回。ぜひご参加ください。

16:00～18:00  
 2,000円(書籍代金含む。書籍をすでにお持ちの方は1,500円) 定員30名  
 ▶浄土宗 龍岸寺(京都府京都市下京区八条坊門町564)  
 JR「京都」駅 徒歩10分、京都市バス「七条大宮」下車 徒歩5分  
 講師 / 池口龍法、辻村優英、若林唯人  
 申込 / <http://www.freemonk.net/events>  
 主催 / フリースタイルな僧侶たち  
 ※終了後に参加者との交流会を行います。参加費は3,000円程度の予定です。



MAY BUDDHA BLESS YOU!!

## 編集後記

京都から新幹線で東京へ。そして東京から特急わかしおに乗って1時間半。

取材に同行し勝浦を訪れた日は快晴だった。駅に降り立つと、佐々木教道さんがお迎えくださった。そのときが初対面で幾分緊張しながらのご挨拶だったが、車に同乗し、お寺に着く頃にはすっかり肩の力が抜けていた。

妙海寺さまのウェブサイトのコピーに「妙なる海に抱かれたお寺」とある通り、お寺の境内からは太平洋を一望できると、海が広がる音が心地いい。お寺に入ると、海が見える部屋に通していただいた。

仏教を生きて、実践してきた方だからこそだろう。お話を伺いながら、佐々木さんの言葉が何度も刺さった。ご紹介くださった寺子屋ブツダ代表の松村和順さんは「応援したくなる人なんですよ」とおっしゃっておられたが、そのことの意味が深く分かった。

他にも取り上げたかったエピソードや取り組みが山ほどある。小誌の紙幅では到底収まらないのが歯がゆい。一冊の本になればなんと素直に思うぐらいだ。

ちなみに、気になった方も多々ありますが、表紙の写真のカッコは、プラスチック製です(本物にしたかったのだけど、時化で手に入らずでした)。

末筆ながら、佐々木教道さん、特集記事を寄稿してくださった島田ゆかりさん、そして、今号の発行のためにご尽力くださったすべての方に、心より御礼申し上げます。

フリースタイルな僧侶たち  
代表 若林唯人

寺院

浄土宗

安心院(京都府八幡市)／安楽寺(京都府南丹市)／延命寺(大阪府堺市堺区)／吉祥寺(山口県萩市)／九品寺(京都府京都市南区)／教安寺(福岡県福津市)／慶蔵院(三重県伊勢市)／光照院(東京都台東区)／金剛寺(京都府京都市東山区)／西明寺(兵庫県尼崎市)／西楽寺(京都府京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(滋賀県東近江市)／正覚寺(青森県青森市)／正善寺(兵庫県伊丹市)／勝楽寺(東京都町田市)／新善光寺(北海道札幌市中央区)／崇福寺(滋賀県甲賀市)／善願寺(滋賀県甲賀市)／善道寺(北海道札幌市豊平区)／聖鏡寺(大阪府枚方市)／檀王法林寺(京都府京都市左京区)／潮音寺(東京都大島町)／長壽院(東京都台東区)／梅窓院(東京都港区)／法岸寺(静岡県静岡市清水区)／寶松院(東京都港区)／法善寺(大阪府大阪市中央区)／無量光寺(鳥取県鳥取市)／龍岸寺(京都府京都市下京区)

浄土宗西山禪林寺派

光明院・田中医院(京都府京都市中京区)／宝泉寺(愛知県津島市)

浄土真宗本願寺派

光照寺(大阪府大阪市東淀川区)／光徳寺(福岡県みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／西方寺(奈良県大和郡山市)／浄元寺(兵庫県尼崎市)／正源寺(滋賀県大津市)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(広島県福山市)／養法寺(石川県金沢市)

真宗大谷派

覚法寺(福岡県八女郡)／称讃寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市)／超覺寺(広島県広島市中区)／宝皇寺(北海道函館市)

浄土真宗東本願寺派

緑泉寺(東京都台東区)

天台宗

圓融寺(東京都目黒区)／大圓寺(東京都目黒区)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区)

高野山真言宗

弘法寺(大阪府和泉市)／薬師院(大阪府岸和田市)

真言宗御室派

三津寺(大阪府大阪市中央区)

臨済宗妙心寺派

円光寺(東京都台東区)／宜雲寺(東京都江東区)／陽岳寺(東京都江東区)／龍雲寺(東京都世田谷区)

臨済宗建長寺派

帰一寺(静岡県賀茂郡)

曹洞宗

四天王寺(三重県津市)／瑞生寺(静岡県浜松市中区)／南詢寺(大阪府守口市)

日蓮宗

法華寺(京都府亀岡市)／妙見寺(和歌山県橋本市)

時宗

正法寺(京都府京都市東山区)

単立

五百羅漢寺(東京都目黒区)／瑞聖寺(東京都港区)／法然院(京都府京都市左京区)

企業・団体・店舗

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドタブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作鳥(京都府京都市下京区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／大正大学(東京都豊島区)／豊田愛山堂(京都府京都市東山区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)

\*各宗派五十音順

## フリースタイルな僧侶たちとは

「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった“生きていくための教え”が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがて訪れる死から目を背けても、充実した人生はありえませんが、仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。「フリースタイル」という言葉を掲げたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模

索しようと志してのことです。本誌の発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることもあるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしく願っています。志を同じくする僧侶や読面づくりやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

www.freemonk.net

### 私たちの活動に共感し、応援して下さる方を大募集!!

サポーターの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けいたします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。法人サポーターの方々も、誌面にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費：5,000円(個人)  
30,000円(法人)

■会費振込先

三井住友銀行 岡田支店(422) 普通 5092943  
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振り込みの際にはあらかじめご連絡ください

・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4330

・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864

・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

### 「フリースタイルな僧侶たち」バックナンバー(電子版)のご案内

PCはもちろん、スマートフォンやタブレットなど、モバイル端末でバックナンバーを閲覧可能(無料)。

http://p.booklog.jp/users/freemonk?s=1

Instagramでフリスタをもっと身近に!!

 @freemonk\_official

### 冬用各宗派衣価格(税込)

|                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ◎布袍化繊地 18,800円～  | ◎黒直綴化繊地 27,000円～      |
| ◎改良衣化繊地 17,500円～ | ◎白衣テロンウール 9,950円～     |
| ◎間衣化繊地 17,500円～  | ◎白衣高級メガーナ京仕立 16,800円～ |
| ◎黒衣化繊地 30,500円～  | ◎足袋 950円～             |

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

丸法衣・袈裟製造直販

## 丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面路上(西本願寺前店)

☎0120-075-024

### 築90年の京町屋で本格タイ料理

## 佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

## 祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側33番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





HamaYa  
浜屋は  
関西最大級の  
お仏壇・お仏具・  
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



**浜屋**

お仏壇・お仏具・お仏具・お墓・ギフトのご相談は  
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル  
**0120-1616-94**  
受付時間：午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代   | ■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代   | ■尼崎店 ☎(06)6413-2211代     |
| ■岸和田店 ☎(072)445-2211代    | ■宝塚店 ☎(0797)83-4500代     |
| ■堺鳳店 ☎(072)261-2211代     | ■西宮店 ☎(0798)51-2211代     |
| ■堺井寺店 ☎(072)954-2211代    | ■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代   |
| ■駒川店 ☎(06)6709-2211代     | ■芦屋店 ☎(0797)35-1194代     |
| ■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代  | ■三田店 ☎(079)559-2211代     |
| ■中塚東大阪店 ☎(06)6783-2211代  | ■神戸本店 ☎(078)371-2211代    |
| ■滝川本店 ☎(072)829-2211代    | ■新長田店 ☎(078)621-2211代    |
| ■枚方家島屋地店 ☎(072)838-2211代 | ■明石店 ☎(078)927-2211代     |
| ■高槻店 ☎(072)683-2211代     | ■加古川店 ☎(079)428-2211代    |
| ■茨木店 ☎(072)622-2211代     | ■高砂店 ☎(079)443-2211代     |
| ■箕面店 ☎(072)726-5522代     | ■姫路本店 ☎(079)282-2211代    |
| ■豊中野野店 ☎(06)6853-2220代   | ■福崎店 ☎(0790)22-2211代     |
| ■豊中店 ☎(06)6848-2211代     | ■網干店 ☎(079)272-2211代     |
| ■川西店 ☎(072)759-2201代     | ■龍野店 ☎(078)162-2235代     |
| ■北伊丹店 ☎(072)780-5211代    | ■赤穂店 ☎(078)145-2211代     |
| ■伊丹店 ☎(072)775-2211代     | ■山崎店 ☎(0790)62-6171代     |
| ■東園田店 ☎(06)4960-4000代    | ■浜屋漆工芸部 ☎(079)293-2211代  |

■本社 姫路市南畝町2丁目31番地 TEL 079-288-2211(代)

## 「経典をナナメから読む会」が 1冊の本になりました!

『仏教は現代の苦しみに効く?』  
池口龍法、辻村優英 / フリースタイルな僧侶たち / 128頁

失恋中だった宗教学者の辻村優英が「仏教は失恋に効くのか?」という疑問を抱き、「フリースタイルな僧侶たち」前代表の池口龍法と始めた「経典をナナメから読む会」。経典にあるお釈迦さまの言葉をグッと私たちの生活にたぐり寄せ、確かな知識をベースに笑いを交えた軽妙なやりとりを繰り広げるこの勉強会は大人気企画となりました。本書には、2014年から2015年にかけての対談を収録。二人の妙味ある対話を、味読されたし。



「フリースタイルな僧侶たち」主催、または後援するイベントの会場にて販売いたします。ぜひイベントへお運びの上、ご購入ください。また、法人会員と個人会員の方には、規定冊数まで無償でご提供させていただきます。

ご購入についてのお問い合わせは、[info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net) まで



# 心といのちの電話相談室

## ☎03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00～16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと  
願う人がいます。  
つらいお気持ち  
おはなしてください。

### 「心といのちの電話相談室」の特徴

- 研修を受けたお坊さん、お寺の奥さんがお話を伺います
- 多彩なご相談に対応します
- 周囲の方もご相談ください

### 「心といのちの電話相談室」の約束

- 秘密は必ず守ります
- 勧誘はしません
- 無料でお受けします

## 「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内  
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン VOL.40  
2016年4月1日発行

総指揮・編集責任者  
若林唯人

特集記事寄稿  
島田ゆかり

デザイン  
梅本龍青 (NILOTALPA)

マンガ  
光澤裕顕

ロゴデザイン  
しらたきなべお

表紙、P10 撮影：若林唯人  
P2-4 撮影：坂本泰士、松村和順

発行  
フリースタイルな僧侶たち編集部  
〒600-8305  
京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室  
TEL:050-5583-4330  
FAX:050-3730-9864  
[info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)  
<http://www.freemonk.net>

© 2016 フリースタイルな僧侶たち 禁断転載  
乱丁・落丁はお取替えいたします。